

舟山

発行者
幸田町立南部中学校
志賀 浩美
第107号

「共創」～自ら前へ！はじける今！～

南中祭



十月十七・十八日の二日間、南中祭を行いました。さまざまな制限がある中での開催でしたが、思い出に残る南中祭となりました。

クラスで頑張った一か月間 三年 稲吉 美春

自分たちのクラスは合唱コンクールで、四部合唱で難しいといわれる「聞こえる」に挑戦しました。この曲は、それぞれのパートの音とりが大事だと言われたので、音とりに力を入れました。一週間前になり、みんなで合わせる練習を始めました。合わせて練習していくにつれて、どんどん上手になっていくことを実感しました。

本番当日、ホールは響くので、男女の声のバランスが変わってしまうのではないかと心配しました。しかし、練習したときに、バランスがきちんととれていたため、自信をもって本番に臨むことができました。本番では、クラスみんながきれいに歌ってくれたので、指揮も今までで一番うまくできました。

多くのできごとを乗り越えて本番まで来ました。最終的には、クラスで目指した優勝ができてよかったです。



南中祭で披露した全校ソーラン

南中祭を振り返って 二年 天野友紀菜

今年の南中祭で一番がんばったことは合唱です。去年よりも明らかに声が出るようになり、ブレスや強弱も意識することができるようになりました。また、どうしたら学級全員で一つになって歌うことができるかということたくさん考えました。本番の一週間前になると、学級全体の意識が上がり、声の重なりもよくなりました。本番では、みんなの気持ちと声が一つになって、今までで一番楽しく歌うことができました。

合唱の取り組みで得たことを日常生活でも意識し、合唱と同じくらい勉強や部活動に力を入れていきたいです。



気持ちと声が一つになった合唱

笑顔あふれた南中祭 一年 佐々木美音

初めての南中祭を一字で表すと、私は「笑」という漢字にしました。南中ソーランの練習があつて、合唱を練習する時間が少なく、朝の練習ではまとまらず、なかなかきれいな声が出せず、不安でした。しかし、南中祭が近づくにつれてみんなの意識が高まりました。

本番は指揮者の美早希さんが、笑顔を見せてくれて笑顔になれて上手く歌えました。笑顔があふれてみんな楽しそうに私自身も楽しかったです。来年は、舞台発表をやりたいし、演奏では新しく入ってくる一年生と今の二年生の先輩と一緒にがんばりたいです。学年が学級の指揮者にも挑戦したいと思いました。



1年生、初めての合唱コンクール

新人体育大会

先輩たちの思いを受け継いで

二年 稲吉 絢友

僕たち野球部は新人戦で優勝しました。これまでずっと練習してきたことを本番で発揮することができました。一人一人が声を出し、チーム全員で戦い抜きました。

今回の優勝は自分たちの頑張りもありですが、先輩たちが野球の技術だけでなく日常生活からこだわって取り組むことの大切さを教えてくれたからだと思います。まだ課題はたくさんあります。日常生活にしっかりと取り組み、野球の技術を高められるように野球部全員で練習を積み上げていきます。

元気を与えられるチームを

目指して

二年 山口 蒔乃

大会前、どんな試合になるか、勝てるかなどのいろいろな感情がありました。一セット目は相手に流れをもっていかれそうなきがりましたが、「気持ちで負けない」ようにプレーをしていたら、流れをつかんで勝つことができました。二セット目は疲れがありましたが、落ち着いて点を取り勝つことができました。みんなが「優勝」という目標に向かって全力で取り組めた大会でした。

この大会を通して自分たちの課題も見つかったので、もっと上手になって元気を与えられるチームにしていきたいと思いました。

新人体育大会の結果

(十月三・四日実施)

○団体の部

優勝

第二位

第三位

○個人の部

優勝

第二位

野球部

バレーボール部

弓道部 男子・女子

卓球部 男子・女子

剣道部 男子・女子

卓球部 女子 岩瀬 由奈

剣道部 女子 (高学年) 神谷 咲良

弓道部 男子 鈴木 敬太



幸田町新人体育大会



人間関係でつくれる

魔法の薬

一年 清澤 慧大

福祉実践教室では、認知症について学びました。認知症という病気がどれだけ身近にあるのかを知ることができました。ご飯を食べたのか、お風呂の入りの順序はなんだったのか、物忘れや妄想などの症状があることをわかりやすく教えていただけ、勉強になりました。

自分が一番印象に残った話は、「認知症は自分たちの接し方次第で進行を遅らせることができる。」という話です。薬でも進行は止めることができるけど、自分たちでもできる優しくしてプライドを傷つけないような接し方で進行を遅らせることができるならそっちの方がいいです。人間関係でつくれた魔法の薬のようなと感動しました。これからも自分が今できることを考えて見つけ、行動したいと思えました。



衣服の着脱体験

後期生徒会役員紹介

会長 三年 水野ひより

副会長 三年 伊藤 思帆

書記 一年 西村 柚衣香

一年 稲吉 絢友

二年 山口 蒔乃

自分たちで創り上げる南部中学校

生徒会長 三年 水野ひより

今年は、例年とは全く違い、なかなか思うようにならない中、深溝夏まつり実行委員の方々など地域の皆さんに協力してもらいながら、生徒会を中心に南中祭の準備をしました。だからこそ、自分たちで創り上げたという達成感をよりいっそう味わえる二日間になりました。今年の生徒会スローガンのように、自分から動こう、挑戦してみようという姿が多く見られました。

これからも、いつもと違うことがきつとたくさんあると思います。それでも、全校が力を合わせて、新しい南部中を創り上げていきたいです。



櫓を舞台にしての特別出演